

「あらゆるリスクや災害から市民をまもる」危機管理について

①地域防災計画、修正完了までの時期・経過は。②国民保護計画、進捗状況・完了時期は。③防災計画の修正に合わせ、初動マニュアルの整備は行われているか。④危機管理の理念・基本方針等を定めた危機管理基本指針の策定の考えは。

①計画を決定し都と協議。都の指摘事項を含め防災会議を開き最終決定。完了は5月か6月。②12月に都へ事前協議。修正後、最終協議を都として3月中旬に完了予定。③マニュアルを修正し機能するよう整備していく。④ぜひ必要と考える。

高橋 清治

水道道路の安全対策 ～道路行政について～

①水道道路で昨年から死亡事故が3件発生。都第2次計画で水道道路の整備が着手できなかったこと分析は。②都第3次整備計画に向けた市の対応は。登戸方面からの交差点、信号、標識、路面表示の改善等市として早急な対策を求むる。

①計画決定後の急激な経済情勢の変化に伴う財政的な問題や、埋設物に対する技術的な課題などが理由。②昨年度第2次での事業化が見送られた中で、強気に採択要望活動を続け、第3次計画に盛り込まれた。

学校庭の芝生化を ～教育行政について～

①学校も環境負荷低減や情操をはぐくむ教育に对应した施設づくりが求められる。校庭が抱える課題は②芝生化の利点は③芝生化に対する補助金の仕組みは④費用は⑤課題は⑥市教育委員会の芝生化の意見はあるか⑦校庭全面か一部か。

①砂塵の飛散、ぬかるみ等②ヒートアイランド対策効果、砂塵の解消③補助金対象2分の1、維持・管理を地域と協働で実施する場合全額補助④維持・管理は市の負担⑤排水設備、散水設備等が必要⑥管理費用と維持管理体制⑦一部実施。

井上 城治

「まちづくり」について ～市長の政治姿勢 (財政・市民参加)～

①「敬老金の一律支給」「市民センター・地域センターの使用料無料」の政治姿勢を、市の基金が底をつき財政危機に直面し、おのおの節目支給・有料化に変えたのはなぜか。②「まちづくり総合プラン」の市民ブランド売却頓挫の原因は。

①三位一体の改革などによる厳しい財政環境の中で、新たな事業展開の仕方考えなければならぬ。そういう視点から政策判断をした。②市民参加の手続きでの反対の声、議会の意向を踏まえた上で出した結論である。

石黒 実

行政運営について

①多岐にわたる議会の一般質問にどう受け止めているか。②社会状況や保護者の実情ニーズに合った子育て支援の一つである保育行政をどう進めるか。③職員の意識向上と市民サービスの上から一目でわかる名札の改善を望むが。

①一般質問は、執行機関をチェックし、適正な行政運営を確保する上で重要な議会の権能と認識②保育園等の園庭開放事業に参加した保護者、父母会、市民意識調査など、広く市民の声を伺い進めていく③次に変わるときに検討していく。

白井 明

行政改革について

①18年度の改革の進捗状況は。②滞納処分等を強化するとして市税徴収の成果は。③凍結している都市計画道路3・4・16号線の整備の見通し、小田急線高架下の危険な変則七差路と狛江消防署向かい側歩道の未改修部分の取り組みは。

①定年退職者不補充や人件費の見直しは予定通り。②19年1月末現在の収納率は対前年比、市税1・5%増。③変則七差路を含め、19年度補助金関係協議、20年度現地測量に入りたい。未改修部分は関係人へ事業協力の理解を求めていく。

放課後児童健全育成 事業と保育所について

①定員を満たす児童保育所は1カ所で、委託した小学生クラブ等は定員を超えている。もつと民間の力を活用すべきと思うがどうか。②多様化する子育て支援策の充実と狛江駅の南にある市有地を子育ての拠点施設に整備できないか。

①今後民間のよい点も参考にしていく必要がある。②保育あるいは子育て支援の見地から、一定の考え方を整理する必要はあるが、それをどこに求めるかは今後の検討になる。

西村 あつ子

バス停の新設について

緑野小学校から狛江営業所間のバス停の新設について、地域からも要望がある。署名に取り組み小田急バスへの要請を行った。市としても小田急バスへの申し入れを行ったようだが、その状況について。

平成19年1月26日付けで書面にて要望し、2月6日には現地調査を行った。今後については、都道の拡幅工事の進捗状況にあわせて、バスベイスの設置等も含め関係機関と調整を図りたい。

治療等についての相談や問い合わせ状況は。③不妊治療費への新たな助成を。また、東京都の「特定不妊治療費助成事業」で所得制限で対象にならない家庭への支援を。

①市独自の施策は実施していないが、都実施の助成制度の申請便宜や不妊相談への丁寧な対応を実施②最近続けた2件の相談があったが、これまでは年に2～3件③都の助成制度の動きや財政状況等の推移を見きわめながら検討したい。

①保育園への待機児がふえているが、どう分析しているのか。②保育ママの増員が必要。③公立園での定員増の可能性は。④待機児がふえるようであれば、認証保育所の定員枠の拡大も必要では。

田辺 良彦

電研の南・小田急線 高架下交差点の 抜本整備を

電力中央研究所の南、小田急線高架下の複雑七差路交差点は、高齢者などの歩行者にとつては危険な箇所である。以前にも抜本改修を求めてきた。改めて高い優先度で速やかに整備することを要望するが、いかがか。

平成20年度から、電力中央研究所西交差点から七差路交差点までの区間について、現地測量など現況調査を実施していきたい。

①推進委員会をつくり、構想の具現化に取り組む。事業は実行委員会方式により実施を考えている。②4月1日からスタートできるように準備を進めている。③宣伝活動・戸別訪問など積極的に増強を図っていききたい。

①「組織のスリム化」では、定年退職者不補充についてはおおむね予定どおりの見込み。「事業のスリム化」については、衡型財政への転換については、不確定な部分もあるが安定した成果が上がっていると見込んでいる。

鈴木 えつお

高齢者の暮らしを 守るために

①各町村の減免規定等正に伴う国保税の改定に合わせ検討していく③税の公平性を担保し、実態を調査し対応したい。

①市民生活を守るために、免制度の創設。②国保税・介護保険料の減免制度の拡充。③要介護高齢者の障害者控除制度の対象拡大。④要介護高齢者の緊急ショートステイ制度の創設など進めるべきと思うが。

①「音楽の街・狛江」の新年度の取り組みはどうか。②事業の拠点となるエコーマホールのホームページの開設予定は。③お店紹介ポータルサ

①「音楽の街・狛江」の新年度の取り組みはどうか。②事業の拠点となるエコーマホールのホームページの開設予定は。③お店紹介ポータルサ

魅力ある狛江づくり について

①「音楽の街・狛江」の新年度の取り組みはどうか。②事業の拠点となるエコーマホールのホームページの開設予定は。③お店紹介ポータルサ

①「音楽の街・狛江」の新年度の取り組みはどうか。②事業の拠点となるエコーマホールのホームページの開設予定は。③お店紹介ポータルサ

安全・安心のまち づくりは市民の 共通する願い

①学校安全巡回員の配置時間が新年度から延長される。さらなる延長のための検討状況について。②防災備蓄倉庫の分散備蓄が完了した。現実にこれを利用することになる住民に公開する機会が必要だと思

①学校安全巡回員の配置時間が新年度から延長される。さらなる延長のための検討状況について。②防災備蓄倉庫の分散備蓄が完了した。現実にこれを利用することになる住民に公開する機会が必要だと思

不妊治療費への助成を

①不妊についてのこれまでの取り組みは。②不妊

①不妊についてのこれまでの取り組みは。②不妊